

世界遺産を“先取り”研修！ 韮山反射炉と茶摘み体験

2016年6月26日実施 JGA 第一部支部研修 終了レポート

2016年6月26日（日）、JGA 第一部支部主催の「世界遺産を“先取り”研修！ 韮山反射炉と茶摘み体験」を実施しました。平成27年7月 UNESCO は「明治日本の産業革命遺産」を世界遺産に登録、その一つが静岡県の伊豆の国市にある韮山反射炉です。インバウンドで今後注目される反射炉及びその建設に貢献した第三十六代韮山代官江川英龍の邸宅を見学して、幕末の産業革命について学びました。地元の伊豆の国歴史ガイドの会、また伊豆の国外国語ボランティアの会の方々から詳しいご説明を伺い、特に伊豆の国外国語ボランティアの会の皆さんとは良い交流の機会ともなりました。

併せて茶畑での茶摘み体験、製茶工場見学で、静岡が誇るお茶についての知識を深めました。当日は、関東圏のみならず、奈良県、大阪、愛知県から、総勢26名（会員21名、非会員3名、運営委員2名）の参加者が集いました。梅雨の合間のよいお天気に恵まれ、富士山こそ見えませんでしたが、終日楽しい研修でした。



伊豆の国歴史ガイドの会の方達から反射炉（左上）及び江川邸（右上）の概要説明を受け、見学。鉄製砲製造方法、韮山で製造された鉄製砲がお台場に配備された事、江川英龍が江戸幕府の旗本・代官を務めながら工学、医学、芸術、文学など多彩な才能を発揮した万能人であったことなど、興味深い話を伺う。



（左上）男女全員緋の着物の「早乙女」姿で楽しく茶摘み体験。（右上）その後、製茶工場を見学。